

### 3. グローバル健康環境教育研究推進プログラム

事業参画大学間の連携プログラムとして実施したものには【連携】を付した。各プログラムの成果については、実施大学のホームページ等に詳細が記載されている。なお、プログラム名に(\*)を付したものについては別添の資料が提出されている。これらについては、本事業のホームページの資料あるいは各実施大学のホームページ等でご参照いただきたい。また、参画大学からの事業報告の中で、本事業の主な5つのアドバンスト教育研究プログラムとしても報告があるものについては、プログラム名と簡単な概要を取り上げた。

#### 【2016年（平成28年）度】

##### 1) 学部生、大学院生を対象としたプログラム

<金沢大学>

##### ○ 環境要因による疾病の解明と防止を担う国際医療人育成プログラム (\*)

- ・大学院生を対象として、2014年度に環境要因と疾病の関連解明、環境保全、疾病予防に関する専門知識と総合研究能力を有する国際医療人を育成するコースを設置した。
- ・本プログラムでは、金沢大学の環境と健康に関する豊富な研究・教育における実績を活かして、1) 疾病を誘発する環境要因を明らかにし、疾病予防に結びつけるための高度な研究力の養成、2) 日本人学生も含めた協同学習で国際コミュニケーション能力の涵養、3) 国際機関や各国政府・自治体、研究機関、企業等で環境計測、健康影響評価、予防施策を実践・指導できる人材の養成を図った。
- ・本プログラムの修了要件は、初期総合カリキュラム4単位以上、薬学専攻選択科目から12単位以上、薬学専攻必修科目16単位以上及び所属専攻以外が開設する授業科目（博士課程共通）から2単位以上、合計34単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとした。
- ・環境と健康の問題に国際的視野で携わる教員が専攻を越えて結集し、通常大学院カリキュラムと並行して実施した。外国人留学生と日本人学生との共同教育を基本とし、国内外の環境および医療の現場での実習により国際感覚を涵養した。

##### 2) その他（大学としての取組等）